

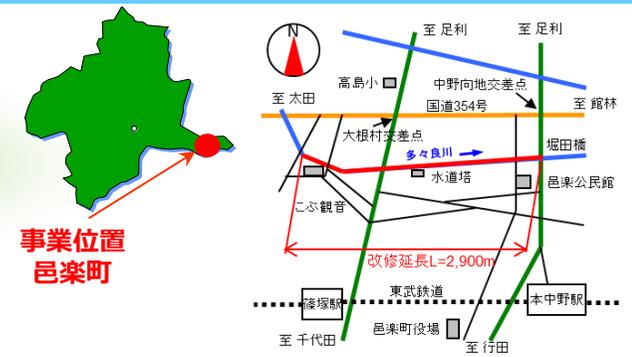
どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・台風時に浸水による稲作への被害が発生しているので、堤防を造ってほしい。(地元住民)
- ・河川沿いの土砂が大雨のたびに流されるので、早く改修してほしい。(地元住民)

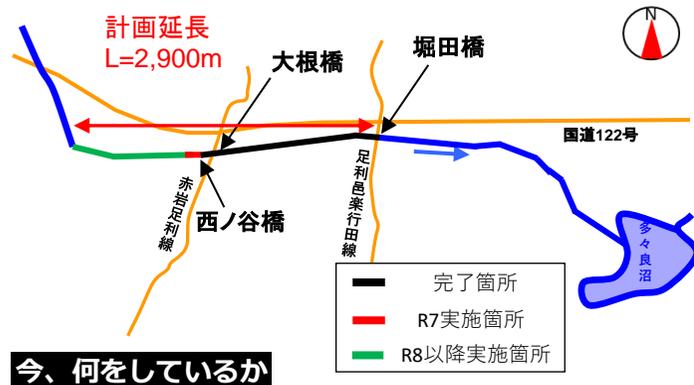


**事業の概要**

- 事業箇所: 邑楽町中野～石打
- 事業内容: 河道拡幅 築堤 延長2,900m
- 事業期間: 平成13年度～

- 現況流下能力: 約7m<sup>3</sup>/s
- 計画流量 : 20m<sup>3</sup>/s

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、西ノ谷橋上流(左右岸)の護岸工事を実施します。

**事業前**

◆ 大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。

平成29年10月(台風21号)

事業前の状況

**事業後**

◆ 川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	52.4ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	104戸

実施後(目標)
0ha
0戸

